

平泉町教育大綱

平 泉 町
(2019～2023 年度)

はじめに

現代社会は、平成から新たな年号の時代へという節目を迎えて、人口減少、少子高齢化、そして、生活環境の激変、価値観の多様化等、大きく変化してきています。そのような現状にあって、持続可能な日本、岩手、平泉の実現に貢献しうる人づくり、生涯学習社会づくりのために、教育が持っている価値と役割が、今後ますます重要になっており、その土台となる学校教育の向上や社会教育の充実が求められています。

私たちの町平泉の教育は、まちづくりの基盤である「平泉への愛着と誇りの醸成」をめざし、地域の課題を明らかにし、地域の力を活かしながら、子どもたちの多様な個性と能力を磨き、地域を担い地域を支え合うまちづくりを進めます。その実現に向けての「学校教育」「社会教育」「家庭教育」を進めるとともに、「過去に学び、今を見つめ、未来を考える平泉学」と平泉ならではの「文化振興」に積極的に取り組むことを柱とし教育の大綱を策定します。

《基本理念》

一人ひとりが輝き、幸せを実感できるまちの実現

《基本目標及び重点施策》

学校教育

◇生きる力を育む学校教育の推進

- 確かな学びの保障
- 豊かな心の育成
- 健やかな体づくり

家庭教育

◇子どもの暮らしと学びを育てる家庭教育の向上

- 子育てのための情報発信と学習機会の提供
- 情報化社会における生活習慣づくり
- 家庭と地域のつながりづくり

社会教育

◇まちづくりと生きがいづくりのための社会教育の充実

- 自発的・主体的な生涯学習の機会の提供
- 地域課題を考え合う学びの場づくり
- 健康づくり・体力増進のための生涯スポーツの振興

平泉学

◇過去に学び、今を見つめ、未来を考える「全世代型平泉学」

- 幼保小中で取り組む系統的な平泉学
- 世代を超える地域で学ぶ平泉学

文化振興

◇芸術文化の振興と文化遺産の次世代への継承

- 地域の文化や遺産の価値を学び、伝えていく人材の育成
- 多様な文化活動の振興と地域力の向上
- 文化財の調査研究の推進と適切な保護・活用

期間：2019年度から2023年度までとする